2014.07.21

小原院長の“いま一番気になる人・仕事”スペシャル対談

小原忠士×肘井永晃×前野妙経

平成２年の開院以来､24年間にわたり地元連島を中心に多くの住民の方から信頼を頂き、皆様の健康に貢献してきた小原整骨院。その小原院長が“いま一番気になる人・仕事”というテーマで、ゲストの方と小原先生とで対談をして頂きました。今回は妙見法活法整体　ＴＲＫトータル臨床研究会（以降ＴＲＫに略）会長　千葉家伝妙見法活法整体　首席師範　桓武月辰流柔術首席師範　活法月辰会総本部副会長　肘井先生と、ＴＲＫ運営会社「株式会社妙経」代表取締役・活法月辰会総本部企画室長　前野先生をゲストにお招きして、古来から伝わる妙見法活法整体について語り合って頂きました。(2014 年 7 月 21 日（月）倉敷シーサイドホテルにて)

ゲスト紹介

■　肘井　博行永晃（月辰会整骨院天王台本院 院長）

昭和 31 年、福岡県出身。指圧、按摩、マッサージ師、鍼灸師、柔道整復師、TRK 会長、活法月辰会総本部副会長、自分の身体をみつめなおす会会長、恒武月辰流（かんむげっしんりゅう）柔術七段・主席師範、柔道四段、日本伝少林寺拳法二段、千葉家伝妙見活法整体主席師範・月辰妙見会副会長。

患者さんの健康を願うだけではなく、歴史のある古流高度整体を中心とした治療技術を多くの治療家に広めている。全国に肘井先生を師と仰ぐプロ治療家は多い。

■　前野　功妙経（前野治療院 院長）

昭和 41 年、神奈川県出身。妙見法活法整体　ＴＲＫ運営会社「株式会社妙経」活法月辰会総本部企画室長。平成９年千葉県船橋市にて月辰会グループ鍼灸高度整体院を開業、地域に根ざした治療院として住民の方々から高い信頼を得ている。現在、肘井先生とともに妙見法活法整体の普及に力を注いでいる。

■　小原忠士（小原整骨院 院長）

倉敷市出身。地元である倉敷市連島で開院以来 24 年にわたり地域の皆様の健康に貢献してきた小原整骨院の院長。柔道整復師としての技術力は当然、その穏やかな人柄で多くの患者に慕われ、スタッフからの信頼も厚い。6 月には株式会社エミリンクとして法人設立。代表取締役となる。

■　司会進行　株式会社パッション　俣野浩志

900 年の歴史を持つ古武術。しかし武術としてだけでなく身体を治す技もある！

小原：肘井先生は、TRK 会長として主に関東で活動されていますが、3 年前から岡山にも来ていただけることになり、今回中国四国支部セミナーの第 3 回目を行うことができました。

肘井先生のセミナーは、実践形式が多く身体を使いながら、明るい雰囲気の中、驚きと笑いのなかで習得できるセミナーが特徴です。毎回新しい内容の技術が含まれ、あっと言う間に時が過ぎていきます。

肘井先生が伝えようとして下さっている活法整体の魅力・本質について、お尋ねしたいと思い、今回時間を作って頂きました。たぶん、これを読まれている方よりも私の方が興味津々かもしれません！

司会：さて、本日はお忙しい中、肘井先生、前野先生、小原先生、お時間を頂きありがとうございます。今回は肘井先生と前野先生がゲストということで、妙見法活法整体に関するお話がお伺いできそうですが…まずは妙見法とはどんな技術なのでしょうか？

肘井：とにかく古来からあるものなので、やはり宗教的・哲学的な面もあります。その辺りのことから簡単に説明しましょう。

妙見とは北極星に深く関係しています。夜空の星の中でも北極星だけは動きません。ですから古今東西、人は北極星を目印として旅をしていました。他の星とは違う北極星の特性が、古代中国の星宿思想のなかで、北辰、天帝と言われ、方向を司る神として崇められることになったのです。玄武、青龍、白虎、朱雀は四神といわれる各方位の守り神であり、その中の玄武に乗って妙見様は移動していると考えられています。北極星、北斗七星は方向と時間、距離を司っているのです。この時間や距離、方向を司るというところが、哲学的な…妙見の本質に結びつく部分です。

そこに仏教思想が入り菩薩という名がつけられ、妙見菩薩信仰というのができたのです。仏教の信仰対象のひとつである天部（密教における神々）に妙見大菩薩があり、神道では妙

見尊星王とも言われます。
　北極星と北斗七星の循環を見ながら桓武天皇が妙見信仰をしていたとも言われています。その後、平将門（5代目）ら平家の流れから千葉一族に引き継がれ、千葉常胤（ちばつねたね）公が武の始祖として基を築いたのです。ここから戦術や剣術～秘技が生まれていった。今でも引き継がれており、現在では第24代宗家の千葉吉胤（ちばよしたね）先生を師として伝承されています。

前野：千葉家伝妙見活法整体は 900 年以上のいわれがあります。鎌倉幕府、頼朝の時代に千葉一族は平家側なのに源氏についたのですが、当時の千葉一族はかなりの力を持っていたのです。また鎌倉時代の元寇（蒙古来襲）では、向こうは石きゅうなど武器が違うが、こちらはそういった飛び道具がなく、戦い方の工夫を余儀なくされた。実際は神風が吹き、ことなきを得ましたが、それを機に武術が飛躍的に発展したのです。この蒙古襲来以降、関東で生まれた妙見法術の発展した戦術そして武術の剣術・柔術などが広く九州で広がりを見せたようです。

小原：柔術と言う言葉が出ましたが、肘井先生は、武道、柔術、活法もされていますが、どういう面に共通点があるのでしょう？

肘井：共通点というより表裏一体といった捉え方の方が近いでしょう。武術は人を殺めるために編み出された技「殺法」と身体を活かすために編み出された「活法」の二つの面があります。戦国時代は殺法が重視されていましたが、現在社会に生きる私たちには身体を活かす（直す）技である活法が重宝されています。もちろん、現代でも身体を鍛えたり精神の鍛錬として武術は求められます。
　表裏一体という捉え方が近いというのは、妙見兵法桓武月辰流柔術の中での身体の使い方に極意があるからです。

小原：なるほど。その身体の使い方を多くの治療家に広めようとされている訳ですね。

前野：そうです。しかし実はそう単純な話でもないのです。千葉一族に伝わる妙技、法術が代々伝わり、失われてしまわないよう伝えていっていますが、武道、柔術、活法もしている人は千葉一族では肘井先生、私の師匠である妙見兵法桓武月辰流第24 代宗家 千葉吉胤妙星 師しかおりません。
師である千葉先生から 24 年以上教えをうけ首席師範としての肘井先生が師匠の千葉先生以外ではこの術理・技術・理念を伝えられる方はいないかと思います！！

妙見活法の極意は哲学や生き方にも及ぶ、知の集大成でもある！

小原：日本文化が継ぐ人が居なく廃れていくのは、寂しいですね。特に多くの方にとって非常に価値の高いものだけに…。

肘井：そう悲観するばかりでもないのです。古流の柔術は合気道と間違われることが多いのですが、幸か不幸か柔術という言葉はグレイシーなどの影響により日本で再認識されるようになった。逆輸入です。グレーシー柔術は主に寝技中心の関節技と打撃での試合を行う流派で、講道館ルールとは違う形で発展したものです。日本でも高専柔術という似た流派もあります。

そういう意味では、グレイシー柔術のおかげで多くの日本人が柔術というものを再認識し、その間口が広がったことは良いことです。

前野：確かにそうです。ただ、妙見法活法は、難解、複雑なので…幼い頃から武術の道に入っていないと、全てを習得するのは困難です。

例えば、妙見法の中核に「妙見法術」があるのですが、この「妙見法術」の存在自体が凄いことなのです。七伝あり、北辰伝・北斗伝・尊星伝・天帝伝・天皇伝・玄武伝・神亀伝と今までは一子相伝の秘伝とされていたものですが、師である千葉先生がこれでは失伝の恐れがあると考えられ、義のある弟子には伝えることとなりました、その筆頭が肘井先生です。その意をうけ全国の志のある方に少しでもわかりやすく伝える場として TRK があります。（TRK：トータル臨床研究会の略で、妙見法活法整体の技術を分かりやすく伝えるための全国組織）しかし妙見法活法整体の活法は、難解・複雑なのでそのまま伝えることが出来ないので、一部を伝えています。

肘井：「妙見法術」は生き方、哲学などにも及んでいる。たとえば、陰と陽があるとする、その真ん中は仏教では中庸と言うが、千葉一族では「律」というのです。白と黒の中庸である真ん中はグレーだが、妙見法術では「光」という答えになる。それは「光」には白にも黒にも自由自在に変えることが出来る力があるという考え方です。非常に深みがある考え方です。

またこの考え方で言うと、真ん中はコントローラーなのでただの真ん中ではない、自分がコントローラーになっていく。自分自身で舵を取るという側面もあるのです。強いて言うならバランスの取り方とも言える。自分と相手の距離感、距離が近いと熱くなる。離れていると冷めている。これを活法とか武道にどう使うかなど…がある。

前野：千葉家伝妙見法術…深いでしょう！

小原：確かに小さい頃からやってないと…積み重ねが無いと全ての習得は難しそうですね。

肘井：そう。やはり 900 年継承されて来た重みがある。かといって幼少期から武術や柔術を習って来たものしか習得できないのでは世の中に広まらないので、活法の中の比較的伝えやすいものを、TRK という仕組みを作って分かりやすく広める役割を

株式会社エミリンク（小原整骨院）

している。

小原：肘井先生のセミナーはいつも分かりやすいですね。体験させてもらえるので頭ではなくて身体で覚えていけます。

肘井：セミナーでたとえ話は出来る。たとえ話を聞いて頭でいくら理解したと思っても、実際には身体で再現することは出来ないのです。武道は身体を使うことだからそれが出来る。身体に覚えさせるのです。活法も体感することが出来る。それが活法の素晴らしいところでもある。これを治療に活かせる。

武術を極めるからこそ、民衆の味方だった！

司会：今後、妙見法活法整体を広めるにあたり、新たな取り組みなどありますか？

前野：実は９月から後継者育成を目指して TRK 身化塾というものを開催します。これは妙見の技をみっちりと習得して頂くために１年間のカリキュラムを組んでいます。
元々が口伝だったため、継承していくことが難しかった、しかも一子相伝だったこともより継承を困難にさせていたのです。

肘井：民衆の救済という妙見の考え方がある。国家安寧、民衆福寿。アマテラスは太陽信仰、妙見は星信仰。星は晴れて無いと見えない。また自分で探さないといけない。そのためには努力が必要となる。ただ拝んでいるだけではだめ。ただ拝むということは、時の権力者の言うことを聞いておけばよいという考え方。権力者には都合が良い。
　しかし妙見の考え方は、民衆が自ら考え始めることで、力を付けることに繋がる。そのため時の権力者は妙見の考え方を危険としてきた。一子相伝として継承して来たのはこういうことも関係しているのではないか。

前野：そうかもしれません。

小原：民衆の…今で言うと地域の方々への貢献ということですね。私も一人の柔道整復師として自分の技術を磨き続けます。本日はありがとうございました。

肘井：こちらこそ、ありがとうございました。

前野：ありがとうございました。

・・・・・・・・

■　肘井先生が院長を務める「月辰会整骨院天王台本院」

〒270-1176　千葉県我孫子市柴崎台 1-7-5　司ビル１Ｆ　TEL：04-7183-6459

※　参考文献

『坂本龍馬と謎の北極星信仰』小学館刊

『坂本龍馬の 10 人の女と謎の信仰』幻冬舎刊

■　前野先生が院長を務める「前野治療院」

〒274-0815　千葉県船橋市西習志野 1-9-52　TEL：047-467-3114

■　小原整骨院（本院）

〒712-8014 倉敷市連島中央 2-3-22　TEL&FAX：086-444-9595

受付時間

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00～13:00	○	○	○	○	○	○	×
15:00～19:15	○	○	○	×	○	×	×

こはら鍼灸整骨院（倉敷分院）

〒710-0003 倉敷市平田 615-1　TEL：086-486-3363